

賢者と愚者

召天者記念礼拝

2026・5・3

コヘレトの言葉 7章1～10節

名声は香油にまさる。

死ぬ日は生まれる日にまさる。

弔いの家に行くのは酒宴の家に行くのに
まさる。

そこには人皆の終りがある。

命あるものよ、心せよ。

悩みは笑いにまさる。

顔が曇るにつれて心は安らぐ。

賢者の心は弔いの家に

愚者の心は快樂の家に。

賢者の叱責を聞くのは

愚者の賛美を聞くのにまさる。

愚者の笑いは鍋の下にはぜる柴の音。

これまた空しい。

賢者さえも、虐げられれば狂い

賄賂をもらえば理性を失う。

事の終りは始めにまさる。

気位が高いよりも気が長いのがよい。

気短に怒るな。

怒りは愚者の胸に宿るもの。

昔の方がよかったのはなぜだろうかと言うな。

それは賢い問いではない。

「コヘレト」とは

- ソロモン王であろうと思われる
 - 「エルサレムの王、ダビデの子、コヘレトの言葉。」
(1:1) > 該当するのは**ソロモン王**である
 - 「コヘレト」は「教師」あるいは「講師」の意
- 当代随一の知恵者であったソロモン
 - 「あらゆる国の民が、ソロモンの知恵をうわさに聞いた全世界の王侯のもとから送られて来て、その知恵に耳を傾けた。」(列王記上5:14)
- 言語的特徴などから後代の著作と思われる
 - ソロモンの著作・語録をもとにまとめたか？

「コヘレトの言葉」の特徴

•「すべては空しい」

- 「コヘレトは言う。なんという空しさ／なんという空しさ、すべては空しい。」(1:2)
- 「空しい」の語源は“ヘベル(煙)”
- 「束の間のもの」「はかないもの」という意味

•仏教における「空」

- “色即是空”＝「目に見える形あるもの(色)は、固定的な実体を持たない(空)」(般若心経)
- 世のすべては無常であるから執着する必要はない

仏教は「世」、コヘレトは「生」の空しさ

コヘレトの言葉 7章1～3節

名声は香油にまさる。

死ぬ日は生まれる日にまさる。

弔いの家に行くのは酒宴の家に行くのに
まさる。

そこには人皆の終りがある。

命あるものよ、心せよ。

悩みは笑いにまさる。

顔が曇るにつれて心は安らぐ。

死ぬ日は生まれる日にまさる

- 「名声は香油に**まさる**」

- 「名声」の語源は「名前」、つまり「良い評判」の意
- 高い香水よりも人からの評価がその人の価値

- 「死ぬ日は生まれる日に**まさる**」

- 人生の終わりは人生の始まりよりも重要である
- 人は“どう死ぬか”が問われている

- 「弔いに行くのは酒宴の家に行くのに**まさる**」

- 誰もが人生の終わりを考えたくない
- 必ず訪れるを「終わり」から目を背けてはならない
- 「**命あるものよ、心せよ。**」

コヘレトの言葉 7章4～7節

賢者の心は弔いの家に

愚者の心は快樂の家に。

賢者の叱責を聞くのは

愚者の賛美を聞くのにまさる。

愚者の笑いは鍋の下にはぜる柴の音。

これまた空しい。

賢者さえも、虐げられれば狂い

賄賂をもらえば理性を失う。

「賢者」と「愚者」

- 「賢者」とは「知恵」のある人
 - コヘレトが言う「賢者」とは、学校の勉強ができる人のことではない
 - 人生において正しい判断を下す能力のある人
- 「賢者の心は弔いの中に、愚者の心は快楽の中に」
 - 愚か者は楽しいことに心を奪われるが、賢い者は悲しい現実から心を背けない
- 「賢者の叱責を聞くのは愚者の賛美を聞くのにまさる」
 - うわつuitaお世辞よりも、愛のある叱責

「賢者」と「愚者」

- 「愚者の笑いは鍋の下にはぜる柴の音」
 - 「鍋の下の柴」: ハッシーリム タハット ハッシール
 - 小枝は勢いよく燃えるが直ぐに消える
 - 愚か者がいかにも楽しそうでも長続きしない
 - SNSに踊らされるな！
- 「賢者さえも、虐げられれば狂い／賄賂をもらえば理性を失う」
 - 「賢者」も絶対ではない
 - ひどい扱いを受ければ判断を誤る
 - お金知恵を曇らせることもある

コヘレトの言葉 7章8～10節

事の終りは始めにまさる。

気位が高いよりも気が長いのがよい。

気短に怒るな。

怒りは愚者の胸に宿るもの。

昔の方がよかったのはなぜだろうかと言うな。

それは賢い問いではない。

賢者のあり方

- 「事の終りは始めにまさる」
 - 賢い者は最後まで見極める
- 「気位が高いよりも気が長いのがよい。」
 - 「**忍耐はうぬぼれにまさる**」(新改訳)
- 「気短に怒るな。怒りは愚者の胸に宿るもの。」
 - 賢い者は直ぐに怒ったり、キレたりしない
- 「昔の方がよかったのはなぜだろうかと言うな」
 - 三千年前の年寄りも「昔の方が良かった」と言った
 - 「それは賢い問いではない」
 - 賢い者は過去を振り返らない

煙のように空しい人生を賢く生きる

死ぬ日は生まれる日にまさる。

弔いの家に行くのは酒宴の家に行くのにまさる。

そこには人皆の終りがある。

命あるものよ、心せよ。

コヘレトの結論

青春の日々にこそ、
お前の創造主に心を留めよ。
苦しみの日々が来ないうちに。
「年を重ねることに喜びはない」と
言う年齢にならないうちに。

12章1節